

PR SJ NEWS

2025 年 6 月号 No.374



第 14 回通常総会開催報告開催報告は P4

TOPICS

第 14 回通常総会開催報告

P5

2025 年度第 1 回国際セミナー開催報告

P15

広報 PR プロフェッショナルが AI 時代に備えるべきスキルとコミュニケーション

リンクトイン・ジャパン株式会社 日本代表 田中若菜氏



公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

発行人：理事長 山口 恭正

目 次

6月~7月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	理事長挨拶	P3
ATTENTION(お知らせ)	6月入会の皆様のご紹介	P4
〃	第14回通常総会開催報告	P5
〃	第38回1次試験 申込み受付中	P6
〃	第37回3次試験(7月実施) 申込み受付中	P7
〃	「広報部長スキルアップ講座 2025」開催のご案内	P8
〃	「第1回中堅実務者講座 2025」開催のご案内	P10
BULLETIN(活動報告)	開催報告：2次試験を5月10日(土)~18日(日)に実施	P12
〃	「緊急記者会見トレーニング」開催レポート	P13
〃	PRSJ「個人会員向けミートアップ 第2回」開催レポート	P14
〃	2025年度第1回国際セミナー開催報告 広報 PR プロフェッショナルが AI 時代に備えるべきスキルとコミュニケーション リンクトイン・ジャパン株式会社 日本代表 田中若菜氏	P15
PRSJ in MEDIA	協会掲載記事	P19

6～7月 セミナー・イベント スケジュール

【オンデマンド視聴】

PRプランナー1次試験対策講座	講 師	： (株)井之上パブリックリレーションズ 横田和明氏他、全4名
PRプランナー2次試験対策講座	講 師	： 三菱UFJフィナンシャル・グループ 飾森亜樹子氏他、全12名
PRプランナー3次試験対策講座	講 師	： (株)グッドパッチ 高野祐樹氏他、全4名
消費者庁ステマ規制に関するセミナー	期 間	： 4月1日(火)～9月30日(火) ※申込みから14日間視聴可
	講 師	： 池田・染谷法律事務所 弁護士 染谷隆明氏

【対面】

第235回定例研究会	日 時	： 6月27日(金) 14:00～15:20
	テ ー マ	： 日経ウーマン リニューアルの狙いとこれから
	講 師	： 『日経ウーマン』編集長 飯泉 梓氏
	会 場	： 富士ソフトアキバプラザ 7F / プレゼンルーム
広報部長スキルアップ講座 2025	日 時	： 7月2日(水) 15:00～20:00
	会 場	： 如水会館「ベガサス」
	講 師	： (株)東洋経済新報社 東洋経済 総編集長 山田俊浩氏、西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 パートナー弁護士 鈴木悠介氏、第一生命ホールディングス(株) 執行役員グループチーフブランド&カルチャー オフィサー 坂本香織氏、三菱UFJフィナンシャル・グループ 経営企画部 部長 チーフ・コーポレートブランディング・オフィサー 飾森亜樹子氏、日立製作所 グローバルブランドコミュニケーション本部 副本部長兼 グローバルコミュニケーション部長 森田将孝氏
第1回 中堅実務者講座 2025	日 時	： 7月18日(金) 15:00～17:00
	会 場	： 富士ソフトアキバプラザ 7階
	テ ー マ	： システム開発現場から広報の最前線へ。 SE×米国駐在×大学院——異色の経歴を持つIT企業の広報部長が語る“広報のリアル”
	講 師	： (株)野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部長 宮原由香理氏

6月～7月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(6月度)	日時	: 6月12日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
	(7月度)	日時	: 7月10日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇教育委員会	(6月度)	日時	6月19日(木)	16:00～17:00
		会場	事務局+オンライン開催	
◇資格委員会	(6月度)	日時	: 6月26日(木)	14:00～15:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇国際・交流委員会	(6月度)	日時	: 6月5日(木)	17:00～18:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇広報委員会	(6月度)	日時	: 6月26日(木)	16:00～17:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇顕彰委員会	(6月度)	日時	: 6月18日(水)	16:00～17:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(6月度)	日時	: 6月4日(水)	17:00～18:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR業部会幹事会	(6月度)	日時	: 6月17日(火)	16:00～17:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	

理事長挨拶



公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

理事長 山口 恭正

(株式会社電通PRコンサルティング 代表取締役社長執行役員)

会員の皆さまには、日頃より協会活動にご尽力いただいておりますことを厚く御礼申し上げます。

さて、この6月10日に「第14回通常総会」が開催されました。事前にご提出いただいた議決権行使書を含めて、総会成立に必要な定足数に達していたことから、会場にご出席いただいていた役員を含む38名の出席者とともに総会を開会し、予定の議案にご承認をいただき総会は滞りなく終了いたしました。おかげさまで今年度の協会活動も本格的に始動します。私が引き続き理事長を務めさせていただき、21名の理事・監事の方々とともに、今年度の協会活動を進めてまいります。

また、本年2025年は、協会が発足して45周年となります。大がかりな周年事業は行いませんが、今年の新春フォーラムから、近日予定されている7月の情報交換会まで、様々な接点におきまして、ささやかながらも「PRの展示」コーナーを設けさせて頂き、微力ながらも「パブリックリレーションズ・PR」のPR活動をさせて頂いております。その中で、まだ「PR」には誤解が多いことにも触れております。特に、メディアへのプロモート手法、パブリシティにのみに焦点のあたった偏った理解も多く、パブリックリレーションズ・PRの全体像や役割を理解されているとはいえません。さらには、昨今、マーケティングの定義についても変容があり、パブリックリレーションズの定義に非常に近づいてきている点も、理解を複雑にさせている遠因にもなっております。5年後の50周年、2030年に向けては、パブリックリレーションズの正しい理解、組織経営にとっての役割の幅広さやその可能性の理解促進につとめていきたいと思っております。

そのためには、本協会の活動、提供コンテンツを時代や社会の変化に合わせたものに、常にアップデートしていくと共に、会員の皆さまのさまざまなニーズにお応えするため、広報パーソンに求められる基礎的、普遍的なものから、時代に合わせた高度なスキル要請にこたえられるもの、加えて過去のPR活動の事例の整備まで、コンテンツを充実させて、会員の皆さまへの提供価値を高めていきたいと考えています。会員の皆さまはじめ、パブリックリレーションズに関わる皆さまのご協力を抜きにしては成しえないものと考えますので、今後も、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

新規入会の会員（正会員）のみなさまの「自己紹介」ページです。今回は、6月にご入会いただきました正会員（掲載希望社）をご紹介します。

SBC メディカルグループ株式会社



SBC メディカルグループホールディングスの脇山亜希子と申します。

当社は、湘南美容クリニックをはじめとする多様な医療機関に経営支援を行っており、2025年6月現在、国内外で224院におよぶクリニックネットワークを展開。「人生100年時代」が到来し、見た目の健やかさへの関心がますます高まる中、美容皮膚科、再生医療、歯科、不妊治療など、ライフステージに寄り添った幅広い医療サービスを提供しています。

2024年の米国NASDAQ上場以降は、広報活動も「攻め」と「守り」の両面で注力しております。

PRSJの皆さまとともに、誠実な情報発信のあり方を探ってまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 「第14回通常総会」開催報告

第14回通常総会が、6月10日(火)午後4時から、東京都港区六本木の公益財団法人国際文化会館「岩崎小彌太記念ホール」で開催されました。

令和7年3月末の議決権数は正会員368名で、出席者30名、議決権行使書提出者247名、合計277名となり、定足数の185名を超え、総会は成立しました。

総会では、次の3つの議案の審議と2つの報告が行われ、議案事項は全て承認されました。

会員の皆様、関係者の皆様、またご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げますとともに、今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

【議案審議】

第1号議案 令和6年度事業報告承認の件

第2号議案 令和6年度収支決算報告
並びに監査報告承認の件

第3号議案 定款一部変更承認の件

【報告事項】

第1号報告 令和7年度事業計画について

第2号報告 令和7年度収支予算について



また、午後5時30分からは、同階「樺山・松本 ルーム」において懇親パーティが行われ、こちらも100名(招待者含む)の参加者を迎え、大盛況でした。

パーティ席上では、今年度の役員紹介などのセレモニーが行われ、盛況の内に閉会しました。



(事務局・鈴木)

PRプランナー資格認定制度／検定試験

全国 47 都道府県にあるテストセンターで受験可能
第 38 回 1 次試験 申込み受付中
 — 試験期間は、8 月 9 日(土)～24 日(日) —

資格委員会

2025 年度後期（第 38 回）1 次試験のお申込み受付を 6 月 1 日（日）より開始しました。

第 38 回 1 次試験は CBT 方式で、試験期間は 8 月 9 日（土）～8 月 24 日（日）の 16 日間で実施します。本 1 次試験は広報・PR に関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに 17,327 名が受験し、12,768 名が合格しております。

また試験会場として全国 47 都道府県に 340 カ所以上のテストセンターがあり、試験期間内のご都合にあわせた試験日で受験することが可能です。

ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

- 全国に開設されたテストセンターで、PC を使って受験していただきます。
- 16 日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます。
- 受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy（ネットバンキング）からお選びください。（手数料は無料です）
- 今回は定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください。

【1 次試験 お申込みから合否通知までの流れ】



【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第 38 回 1 次試験 実施概要】

試験期間	2025 年 8 月 9 日（土）～8 月 24 日（日）
仮申込み期間	2025 年 6 月 1 日（日）正午～7 月 25 日（金）23:59 まで ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります。（本申込に必要な受験コードを取得）
本申込み期間	2025 年 6 月 1 日（日）正午～8 月 1 日（金）23:59 まで ※CBTS Web サイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込みとなります。（受験日時・会場選択、受験料のお支払い）
合否発表	2025 年 9 月 3 日（水）正午
試験出題数／試験時間	50 問／80 分
合格基準	全出題数に対して正答率 70%以上で合格
対応公式テキスト	広報・PR概説（2024 年度版）

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記の PRプランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいませう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



PRプランナー資格認定制度／検定試験

第37回3次試験(7月実施)申込み受付中 仮申込みは7月11日(金)まで

資格委員会

2025年度前期(第37回)3次試験のお申込み受付を5月26日(月)より開始しました。

第37回3次試験はCBTによる記述試験で実施され、試験期間は7月26日(土)・7月27日(日)の2日間で実施します。

3次試験受験料

会 員 13,200円(12,000円+税)
一 般 17,600円(16,000円+税)

3次試験では広報・PRに関する実践技能を問う出題となり、課題A「ニュースリリースの作成」、および課題B「広報・PR計画の立案作成(「コーポレート課題」もしくは「マーケティング課題」から1つ選択)」を120分で記述する試験となります。

3次試験はこれまでに7,774名が受験し、3,742名が合格しております。

3次試験に合格し、一人でも多くの優れた「PRプランナー」が誕生することにより、わが国の広報・PR業務従事者の職能意識が高まり、広報・PR活動による社会の新しい発展力が生まれることを願っております。

【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第37回3次試験 スケジュール】

試 験 期 間 (2日間)	2025年7月26日(土) 15:00 開始(120分間) 2025年7月27日(日) 14:00 開始(120分間)
仮 申 込 み 期 間	2025年5月26日(月) 正午～ 2025年7月11日(金) 23:59 まで
本 申 込 み 期 間	2025年5月26日(月) 正午～ 2025年7月18日(金) 23:59 まで
合 否 発 表	2025年8月25日(月) 正午
受 験 資 格	2次試験4科目合格者、かつ3年以上の広報・PR実務経験者

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記のPRプランナー資格制度Webサイトでご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



—広報の視点で経営に向き合い、貢献するために—

『広報部長に求められる視座と行動』を、メディア・法務・広報責任者の視点から学ぶ講座

「広報部長スキルアップ講座 2025」開催のご案内

教育委員会

PRSJは、7月2日（水）に「広報部長スキルアップ講座 2025」を開催いたします。

皆様は、「広報は経営機能の1つである」という言葉を耳にされたことはありますか？ いまや、企業と社会をつなぐ広報機能は、経営戦略に不可分の役割となっています。そのような中、企業広報のトップを担う方々は、メディアの対応をはじめ、幅広いステークホルダー対応、そして経営層との連携、リスク対応、ガバナンス…まで多様なスキルと視座が求められます。

本講座では、そのような皆様が押さえておきたい基本的な役割や考え方を整理し、「広報部門をどう率いるか」「メディアは企業の何を見ているか」「法務や危機対応で備えておくべき視点」などについて、具体的な事例を交えてお話しします。

登壇者には、

- ・現場で組織をリードする事業会社の広報トップ
 - ・報道記者としての経験を活かし、現在は危機管理・法務の専門家として活躍される弁護士
 - ・経営者・広報責任者への豊富な取材経験をもつビジネス誌編集長
- といった、多角的な視点を持つ講師陣をお迎えします。

また、本講座は、広報部長の方々を主な対象としておりますが、広報課長や広報部門でリーダーを務める方々にも、幅広くご参加いただける内容となっております。広報という専門領域を担うがゆえに、社内で相談相手が限られ、最終的な判断を自ら下さなければならない場面に直面し、孤独や迷いを感じることも少なくない広報部長や広報課長・リーダーの皆様は、同じ立場同士の「横のつながり」を築く機会にさせていただきたいとも考えております。講座終了後には、講師と受講者の皆さまとの懇親会も予定しています。

実務のヒントを得るだけでなく、同じ課題感を持つ仲間と出会える場として、この機会をご活用いただけましたら幸いです。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

【「広報部長スキルアップ講座 2025」開催概要】

お申し込みはこちら⇒ <https://prsj.or.jp/event/management2025/>

- 開催日時：7月2日（水）15：00～20：00 ※14：45から入室いただけます
※講座終了後、講師・受講者を交えた懇親会を予定しています

■講師：

- 【第1部】山田 俊浩氏（東洋経済新報社 東洋経済総編集長）
- 【第2部】鈴木 悠介氏（西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 パートナー弁護士）
- 【第3部】坂本 香織氏（第一生命ホールディングス株式会社 執行役員
グループチーフブランド&カルチャー オフィサー）
- 飾森 亜樹子氏（三菱UFJフィナンシャル・グループ 経営企画部 部長
チーフ・コーポレートブランディング・オフィサー）

Attention (お知らせ)

森田 将孝氏 (日立製作所 グローバルブランドコミュニケーション本部 副本部長
兼 グローバルコミュニケーション部長)

※五十音順

■司会 : 遠藤 祐氏 (博報堂 PR 局 シニア PR ディレクター)

■会場 : 如水会館「ペガサス」 <https://www.kaikan.co.jp/josui/access.html>

■当日プログラム :

- 15:00~15:05 : 開講挨拶 日本パブリックリレーションズ協会 教育委員会
15:05~15:55 : 【第1部】「メディアから見た企業広報と経営コミュニケーション (仮)」
講師: 山田 俊浩氏 (東洋経済新報社 東洋経済総編集長)
16:05~16:55 : 【第2部】「危機管理・企業ガバナンスと広報部長の役割 (仮)」
講師: 鈴木 悠介氏 (西村あさひ法律事務所・外国法共同事業)
17:05~18:30 : 【第3部】「鼎談 企業経営における広報部長の役割とは (仮)」
講師: 坂本 香織氏 (第一生命ホールディングス株式会社)
飾森 亜樹子氏 (三菱UFJフィナンシャル・グループ)
森田 将孝氏 (日立製作所)
※五十音順
18:40~20:00 : 懇親会

■受講料 :

一般 : 59,800 円

PRプランナー資格保有者 (准・補含む) (※1) : 52,800 円

協会会員 (※2) : 39,800 円

※1 「PRプランナー有資格者 (准:補)」は、1次試験もしくは2次試験の合格後、
当協会に認定申請を行っていただき、協会が認定したみなさまです。

1次試験もしくは2次試験を合格したのみでは「PRプランナー有資格者 (准:補)」とは
認定されませんので、ご注意ください。

※2 日本パブリックリレーションズ協会に正会員としてご入会いただいている企業・団体
にお勤めの方、個人会員・准会員のみなさまが対象となります。

システム開発現場から広報の最前線へ。
SE×米国駐在×大学院——異色の経歴を持つIT企業の広報部長が語る“広報のリアル”

広報の現場のリーダーである中堅実務者に向けた講座 「第1回中堅実務者講座2025」開催のご案内

教育委員会

PRSJは、7月18日（金）に「第1回中堅実務者講座2025」を開催いたします。

本講座は、過去3回実施し、毎回受講者の皆様から、「リアルなお話が大変面白かったです。」「悩んでいるのは自分だけではないとわかって、心が救われました。」など、大変好評をいただいている人気講座です。

皆様ご存じの通り、企業と社会をつなぐコミュニケーションの要である広報部門。その中でも、中堅実務者は現場のリーダーとして、社内外の多様な関係者との調整や発信の中心を担う存在です。

日々の業務では、正解の見えづらい課題に向き合いながら、複数の立場や意見を調整し、前に進めていくことが求められます。

ときに迷い、ときに立ち止まりながらも、同じような悩みを抱えているのはあなただけではありません。

本講座では、株式会社野村総合研究所コーポレートコミュニケーション部長である宮原由香理氏を講師にお迎えします。

宮原氏は、システム開発・事業企画・営業・米国駐在など多様な職種を経て、現在はコーポレートコミュニケーション部門を牽引されています。

異業種から広報に転じた経験を通じて、「広報には明文化されたルールや標準が見えにくい」という課題に直面。コロナ禍という特殊な状況下で手探りの業務を経験したのち、「実務の裏付けとなる理論」を求め、社会構想大学院大学に進学されました。

講座では、宮原氏のご経験や学びをもとに、

- ・システム開発出身者から見た“広報の現場”のリアル
- ・アカデミックな知見と実務のギャップから得た気づき
- ・「広報業務にルールは存在するのか？」という根源的な問い
- ・そして今後、中堅実務者が担うべき姿勢と役割とは

といったテーマについてお話しいたします。

同じようなポジションで活躍されている方には、講師の経験に触れることで、日々の業務に立ち返り、自分らしい広報のあり方を見つめ直す機会としていただけますと幸いです。

なお、講座終了後には、講師を囲んだ懇親会を予定しております。業種や企業規模を超えた中堅実務者同士のネットワーキングの場としても、ぜひご活用ください。

皆様のご参加、お待ちしております。

※本講座は【対面開催】です。オンデマンド配信は予定しておりません。

【第1回中堅実務者講座 2025】開催概要】

お申し込みはこちら⇒ <https://prs.j.or.jp/event/chukenkouza2025/>

- 対象 : 企業・団体において広報・PR業務に従事している中堅実務者のみなさま
企業広報に関する理解を深めたいみなさま
 - 開催日時 : 7月18日(金) 15:00~17:00 (懇親会: 17:30~19:00)
※14:45から入室いただけます
※講座終了後、17:30~19:00にて講師を交えた懇親会を予定しています
 - 講師 : 宮原由香理氏
(株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部長)
 - 会場 : 富士ソフトアキバプラザ 7階プレゼンルーム

 - 受講料 :
 - 一般 : 37,800円
 - PRプランナー資格保有者(准・補含む) (※1) : 33,000円
 - 協会会員 (※2) : 24,800円
- ※1 「PRプランナー有資格者(准:補)」は、1次試験もしくは2次試験の合格後、当協会に認定申請を行っていただき、協会が認定したみなさまです。
1次試験もしくは2次試験を合格したのみでは「PRプランナー有資格者(准:補)」とは認定されませんので、ご注意ください。
- ※2 日本パブリックリレーションズ協会に正会員としてご入会いただいている企業・団体にお勤めの方、個人会員・准会員のみなさまが対象となります。

PRプランナー資格認定制度／検定試験

第37回PRプランナー資格認定検定試験
2次試験を5月10日(土)～18日(日)に実施
全国で、314名の受験者が挑戦！

資格委員会

5月10日(土)～5月18日(日)までの9日間、第37回PRプランナー資格検定2次試験が全国のCBT試験会場で行われました。今回の2次試験では、346名が受験申込みをされ、314名の受験者が受験し、そのうち245名が合格されました。また、今回の2次試験の合格率は78.0%となりました。今回の2次試験の受験者および合格者・合格率は以下の通りです。

ご協力いただきました関係者の皆様には、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

第37回2次試験 科目別 正答率65%以上※

科目A：CSR、IR、危機管理等、企業経営とコミュニケーションに関する知識

受験者314名、正答率65%以上183名、達成率58.3%

科目B：マーケティング、ブランドマネジメントに関する知識

受験者314名、正答率65%以上196名、達成率62.4%

科目C：広報・PR実務に関する知識

受験者314名、正答率65%以上227名、達成率72.3%

科目D：時事知識

受験者314名、正答率65%以上278名、達成率88.5%

※上記「科目別 正答率65%以上」の人数は、2次試験合格基準となる「出題数に対して正答率65%以上」を満たした人数となり、達成率は、全体での割合として記載しております。

第37回2次試験 合格率

受験者314名、合格者245名、合格率78.0%

第37回2次試験(2025年5月10日～5月18日) 合格率・受験者プロフィール

		PR業/ PR関連業	一般企業 (広報PR関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	27名	67名	14名	3名	4名	3名	2名	6名	126名
	合格者	18名	58名	12名	3名	3名	3名	2名	5名	104名
女性	受験者	52名	105名	14名	5名	1名	3名	5名	3名	188名
	合格者	37名	84名	8名	3名		2名	4名	3名	141名
全体	受験者	79名	172名	28名	8名	5名	6名	7名	9名	314名
	(全体比)	(25.2%)	(54.8%)	(8.9%)	(2.5%)	(1.6%)	(1.9%)	(2.2%)	(2.9%)	(100.0%)
	合格者	55名	142名	20名	6名	3名	5名	6名	8名	245名
	(全体比)	(22.4%)	(58.0%)	(8.2%)	(2.4%)	(1.2%)	(2.0%)	(2.4%)	(3.3%)	(100.0%)
合格率		69.6%	82.6%	71.4%	75.0%	60.0%	83.3%	85.7%	88.9%	78.0%

		20代	30代	40代以上	全体
男性	受験者	27名	51名	48名	126名
	合格者	19名	43名	42名	104名
女性	受験者	67名	74名	47名	188名
	合格者	47名	56名	38名	141名
全体	受験者	94名	125名	95名	314名
	(全体比)	(29.9%)	(39.8%)	(30.3%)	(100.0%)
	合格者	66名	99名	80名	245名
	(全体比)	(26.9%)	(40.4%)	(32.7%)	(100.0%)
合格率		70.2%	79.2%	84.2%	78.0%

—危機対応の現実感・緊迫感を体感する会見シミュレーション・トレーニング—
「緊急記者会見トレーニング」開催レポート

教育委員会

PRSJは、5月27日（火）に「緊急記者会見トレーニング」を開催いたしました。

近年、企業を取り巻くリスクはますます多様化・複雑化しており、問われるのは「不祥事そのもの」だけでなく、その初動対応一なかでも記者会見を含む説明責任の果たし方が、企業の信頼性を大きく左右します。

こうした背景のもと、本講座は、危機管理広報における基本的な対応の考え方や法的視点の理解と、模擬緊急記者会見のシミュレーションを通じて、実践的に学ぶことを目的に開催しています。毎回高い評価をいただいている人気講座であり、2023年度・2024年度に続き、今回で4回目の開催となりました。

当日は、西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 パートナー弁護士である鈴木悠介氏を講師にお迎えし、ご自身の報道記者としての経験も交えながら、危機発生時の広報対応のあり方や、メディアへの向き合い方、記者会見の注意点などについて分かりやすく解説いただきました。

後半はワークショップ形式で模擬記者会見を実施。受講者の皆様は4グループに分かれ、限られた準備時間の中で対応方針や会見コメントを作成。その後、2グループに“企業側”として登壇いただき、鈴木先生と受講者の皆様が記者役となって、本番さながらの雰囲気での会見を行いました。鋭い質問に真摯に対応される受講者の皆様の姿が印象的でした。

参加後のアンケートでも、

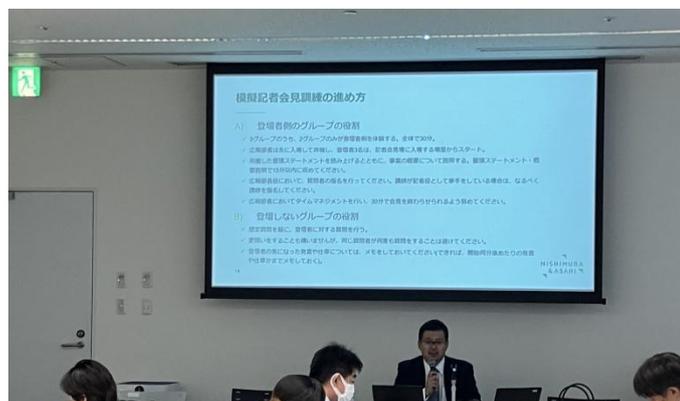
- 「短時間でしたが、会見前に必要な準備が何か、何で会見実施の判断が迷うかなど、大変学びがありました。」
- 「リアリティあるトレーニングを体験できた。」
- 「座学だけでなく、体験できる点がよかったです。」

といった声が多数寄せられました。

本講座は、事前準備が難しい中で突然求められる“緊急対応”に対する感覚と備えを体験的に身につけることが可能です。

今年度は9月にも開催予定ですので、ご関心のある方は、ぜひ次回ご参加をご検討ください！

(教育委員会事務局 佐藤)



PR SJ「個人会員向けミートアップ 第2回」開催レポート



PR SJでは、個人会員のみなさまが気軽に交流していただく場として、「個人会員向けミートアップ」を開催しています。

第2回を2025年5月14日（水）に開催いたしました。非会員を含む17名に参加いただき、大変盛り上がりました。当日のイベントの様子をレポートいたします。

■ 開催の様子

第2回目の開催となる今回は、個人会員のみなさま全員を対象に、自由な意見交換やネットワーキングを楽しんでいただけるカジュアルな会として企画されました。

事業会社に所属している広報責任者やひとり広報担当をはじめ、エージェンシーやフリーランスのPRパーソン、今後入会を検討されている方など、業種・業態問わず幅広い方々が17名参加。

日頃の業務で得た知見や経験を共有し、同業の仲間とコミュニケーションを深めていただく機会となりました。

■ 参加者の声

参加いただいた個人会員のみなさまからは、このような声をいただきました。

- ◆ 「個人会員」は所属組織や立場、属性がバラバラだが、それが刺激となって面白い。
- ◆ 業務に関する相談相手がいないので、広報パーソンに直接出会える場はありがたい。
- ◆ 普段の仕事では会えない方との出会いがあり貴重なご縁をいただけた。

今後も個人会員 MEETUP の開催を計画しております。個人会員の方は、ぜひ開催内容等についてご要望をお寄せください。

文責 日比谷 尚武 (同)kipples

2025 年度第 1 回国際セミナー開催報告 広報PRプロフェッショナルが AI 時代に備えるべき スキルとコミュニケーション

リンクトイン・ジャパン株式会社 日本代表 田中若菜氏

4 月 24 日(木)ミッドタウン・タワー8F

国際・交流委員会

2025 年度第 1 回国際セミナーは、ゲストスピーカーにリンクトイン・ジャパン株式会社日本代表 田中若菜氏をお迎えして 4 月 24 日に開催されました。世界で 11 億人が登録するプロフェッショナルネットワークであるリンクトインは、人材プラットフォームの強みを生かし、企業や教育・行政機関における人的資本経営（人材採用・育成戦略、リスクリング）をサポートしています。AI によって労働市場が急速な転換期にある今、キャリアオーナーシップ、リスクリング、そして経営層による情報発信を通じた戦略的コミュニケーションの重要性など、事例を交えながら語っていただきました。



リンクトイン・ジャパン株式会社
日本代表 田中若菜氏

田中若菜氏略歴

日本で生まれ、東京・神戸・ジャカルタで育ち、アメリカ・フランス・アジア各国で勤務した経験が文化的な柔軟性と急速に変化する環境への高い適応性の礎となっている。ジョージタウン大学国際関係学部卒業、ハーバード・ビジネススクール卒業（元ハーバード・ビジネススクール日本同窓会会長）。2 児の母。Forbes 『Women In Tech 30』2024 に選出。前職は Google にてパートナー企業のデジタル推進を担当。その前はグラクソ・スミスクライン (GSK) 日本法人の変革推進、国会事故調（東京電力福島原子力発電所事故調査委員会）のメンバーに就任、ユニリーバ、ロレアルのブランドマネージャー、アーサー・D・リトルで経営コンサルタントを歴任。

リンクトイン(LinkedIn)について

2003 年 5 月に設立されたプロフェッショナル向けソーシャルメディア「リンクトイン (LinkedIn)」は、本社をアメリカ・カリフォルニア州サンニールに置き、全世界で約 18,400 人の社員を擁しています。日本には 2011 年に拠点を開設し、現在では世界 200 カ国以上で 11 億人が登録、日本国内でも約 450 万人のユーザーを抱えています。2016 年にはマイクロソフトの傘下に入り、売り上げは 2.6 兆円。採用ソリューション、e ラーニング、BtoB・BtoC 向けソリューション提供など多岐にわたる事業を展開。e ラーニングは 13 言語 24,000 以上のコースを提供。AI が学習者に最適なコースを提案しています。

(以下、語り手は田中氏)

【講演概要】

キャリアオーナーシップとグロスマインドセットの重要性

田中氏は、新卒でコンサルティング会社アーサー・D・リトルに入社後、MBA を取得して、ロレアルやユニリーバにてブランドマネジメント業務に従事されました。コーチングや公共政策、リスクマネジメントの

キルを習得。その後 GSK に転職し、変革マネジメントを担当された後、Google で営業・ガバメントリレーションズ等を経験されました。現在のリンクトインでの職務はこれまでのキャリアの集大成であるとのこと。

女性は特に出産などのライフイベントによりキャリアが中断されがちです。そのため、「キャリアオーナーシップ (自らキャリアを切り開く意識)」が重要であり、変化を察知し、自らの思考の枠組みを打ち破る「挑発と刺激」が必要であるとし、スキルをベースに前向きに積み上げていく考え方、「グロースマインドセット (Growth Mindset※)」の重要性を強調されました。

※「グロースマインドセット (Growth Mindset)」とは、スタンフォード大学の心理学者キャロル・S・ドゥエック教授が提唱した、「努力や学習によって能力や知性は伸ばすことができる」という前向きな考え方です。失敗や批判を恐れず挑戦し、他者の成功を学びの機会と捉え、フィードバックや批判を成長の材料として受け止め、柔軟に成長し続けようとする姿勢を指します。一方、「能力は生まれつき決まっている」「努力は無駄」と考え、成長を諦めてしまう思考を「フィックスドマインドセット (Fixed Mindset)」といいます。

AI とリスクリングの必要性

AI による仕事の変化が急速に進む中、田中氏は、日本では全タスクの 73% が AI に置き換わる可能性があるとして指摘。とくにデータアナリストでは 97% のリスクリングが必要とされるなど、全職種で再教育の必要性があると強調されました。一方で、コミュニケーションなどのヒューマンスキルは AI に代替されにくく、プロジェクトマネジメントなど人間的要素の強い職種ではリスクリング率が低いとされました。リンクトインには 13 言語で 24,000 以上ものオンデマンド型のラーニングコースがあります。日本語でも 15,000 のコースがあり、個人に最適なコースを AI が判断して提供しています。



オフィスツアー参加者は、リスクリング需要に対応するため開設されたラーニング制作スタジオも見学した。

エグゼクティブや企業の発信

田中氏は、企業の経営層がリンクトイン上で情報発信をすることで、社外への信頼構築だけでなく、社内エンゲージメントの向上にもつながると説明されました。実例として、ニュージーランド航空のCEOのほか日本企業での活用事例が紹介されました。去年から今年にかけてCEOによる発信が52%伸びていますが、日本でも他国と同様に多くの先進的なエグゼクティブがリンクトインを効果的に活用していると説明。日立製作所の徳永俊昭社長はCEO就任前から積極的に活用し、今年のダボス会議でも情報発信されていました。社員の声をリンクトインで発信している企業では、内定辞退率の低下が見られています。また、フォロワー数の増加が企業ブランド向上につながっており、IR（投資家向け広報）にも効果的と説明されました。

また、何か会社で発表するときはリンクトインで発表する企業も増えています。先日、三井物産もリンクトイン上で決算発表を実施しましたが、自動車メーカーも新車発表の場としてリンクトインを活用しているとのことでした。

日本の課題とリンクトインの貢献

日本はG7の中でも賃金・生産性が低く、人材投資も最も少ない国とされています。これを変革するために必要なのは、(1) スキルベース採用への転換、(2) キャリアオーナーシップを持ち学び続ける姿勢、(3) オープンなコミュニケーションの3点であり、リンクトインはその実現をサポートできると田中氏は述べました。

田中氏の講義の後、質疑応答のセッションが設けられました。

【質疑応答】

Q：リンクトインではコンサルティングを行っていますか？

A：ワークショップを多数開催しており、ニーズに応じて対応が可能です。

Q：リンクトインの日本市場での課題は何ですか？

A：リンクトインは転職サイトのイメージが根強いいため、ブランディングやスキル開発のプラットフォームとしての認知拡大が必要です。

Q：リンクトインでは他のソーシャルメディアと違って、知らない人とネットワークをつくるのに抵抗は少ないですか？

A：リンクトインでは「つながる」と「フォローする」の2種類に分かれています。ビル・ゲイツを「フォローする」ことはできますが、つながり申請を送っても恐らく受け入れてもらえないと思います。実際に会ってつながりたい、もしくは営業をかけたいというときは、メッセージにそれを書いてつながり申請をすると、信頼できると思われた場合は、承認される可能性もあります。リンクトインでは去年の3月に身元確認サービスも始めました。これほど多くの身元確認のとれているサービスはないと思います。

Q：リンクトインの企業ページのフォロワー数を増やすにはどうすればよいのでしょうか？

A：ターゲティング投稿や広告配信が有効です。週5~6回の記事投稿が推奨され、管理者が自分のネットワークからフォロワーを招待する方法も効果があります。

Q：リンクトインでの発信と他チャンネルの違いは何ですか？

A：誰が「いいね」したかなど詳細なデータ分析が可能で、マーケティング施策の効果測定がしやすいです。

Q：AI時代に必要なヒューマンスキルとは何ですか？

A：コミュニケーション、クリティカルシンキング、創造力、EQ、対応力、判断力などが含まれます。ゴールドマン・サックスがAIエンジニアを採用する際、最も重視した学位が哲学でした。判断力や倫理観も重要だと思います。



写真提供：リンクトイン・ジャパン株式会社

国際・交流委員会委員長・司会進行：江中一穂（住友商事広報部副部長）
文責 藤井京子（電通 PR コンサルティング広報部シニアコンサルタント）
写真：河原有希子（内外切抜通信社クロスメディア戦略部課長）

協会掲載記事

● 5月30日(金)『月刊広報会議』(宣伝会議) 7月号

『月刊広報会議』2025年7月号における当協会の連載コラムで、2025年3月25日に実施した第26回企業部会フォーラムについて掲載しました。

コラムでは、「進化する広報の役割とコミュニケーション」をテーマに広報・PRの仕事に異なる立場で携わる4者によるパネルディスカッションの開催報告について紹介しています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

[ここに入力]

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル 12F